

平成29年度医学部医学科卒業証書・学位記授与式を執り行いました

平成30年3月23日(金)、長崎大学医学部記念講堂で平成29年度医学部医学科卒業証書・学位記授与式が執り行われ、教職員及び卒業のご家族が見守る中、105名に授与されました。

永安武医学部長は、社会の変化や最先端の技術の導入など、医療現場を取り巻く環境が複雑化、多様化するなかでも、医師としての責任を自覚し、向き合うことで逆に重圧を楽しんでほしいと、卒業生に式辞を述べました。

これに対し、卒業生代表の原正武さんからは、様々な困難に直面して、医師を続ける自信や気力を失ってしまった時にも、医学部開学の祖 ポンペ・ファン・メーデルフォールトの「ひとたびこの職務を選んだ以上、もはや医師は自分自身のものではなく、病める人のものである。」という言葉を振り返り、今後の医師としての人生を歩んでいきたいと答辞が述べられました。

長崎大学医学部医学科は、真の医療人になるための一歩を踏み出された卒業生の皆様の門出をお祝いし、今後のご活躍とご健勝を心より祈念しています。

